

2023年度 研修要綱のご案内

一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会

2023年度研修予定のご案内

当協会では会員の経験年数に応じて、以下の研修を実施しています。
各研修受講者には、研修受講証書を発行します。

- 学生会員 > 学生研修
- 会員・賛助会員 > ベーシック : MSWとして入職1～3年目
アドバンス : MSWとして入職4～6年目
エキスパート : MSWとして入職7年目以上
グローバル : MSWとして入職年数を問わず

研修対象を、以下のように設定しています。ご参照の上、参加申し込みをしてください。

研修名称	学生研修				現任者研修									
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～
学 生														
ベーシック														
アドバンス														
エキスパート														
グローバル														

学生研修…学生を対象とした研修

学生が、医療ソーシャルワーカーの職業に興味関心が持てることや、この職業を志望することを支援します。

ベーシック研修…MSWとして入職1～3年目を対象とした研修です。

新任者養成研修となります。新任者の方は、MSWとしての仕事の基礎をこの研修で学びましょう。

アドバンス研修…MSWとして入職4～6年目を対象とした研修です。

ベーシック研修後、エキスパートになるためのさらに視野を広げた研修企画です。

様々な仕事の広がりや地域との連携、役割、技術を学ぶことを目指します。

エキスパート研修…MSWとして入職7年目以上を対象とした研修です。

ベーシック研修、アドバンス研修受講後の専門職としての技術の向上や管理業務、人材育成、実習指導などについて学びます。

グローバル研修…現任者全体を対象とした研修です。

MSWを取り巻く様々なテーマや情勢を取り扱い、会員相互に学び合います。

認定ポイント…認定医療ソーシャルワーカーの申請をする際に必要となるポイントを意味します。なお、認定医療ソーシャルワーカーの取得は、その後に続く認定社会福祉士（医療分野）を取得するための認定研修ルート「(3) 日本医療ソーシャルワーカー協会（旧日本医療社会福祉協会）研修ルート」に位置付けられています。

諸注意

※担保したい力量番号について

担保したい力量とは、日本医療ソーシャルワーカー協会が認定医療ソーシャルワーカーに求める、次の11の力量を指します。

当協会が行う研修は、研修毎に目的と併せて、担保したい力量を掲載しています。

①統合的実践能力

論理的思考に基づいた倫理的実践であり、必要な知識、技術を駆使し業務を遂行できる実践能力を持つ。

②総合的及び保健医療分野の専門知識

ジェネリックソーシャルワークを理解し、保健医療分野における専門知識を有している。

③保健医療分野の専門技術

保健医療分野における面接技術、アセスメント技術、介入技術、グループワーク介入技術、アドボケイトのための技術など必要な技術を有している。

④患者アドボケイト能力

患者などクライアントの安全や利益を守り、患者やクライアントの自己決定を尊重できる。

⑤リーダーシップ能力

スタッフへの影響力を考慮し、スタッフに対して動機づけができ、適切なコーチング（指導力）チーム効率の促進、変革の促進などを図ることができる。

⑥組織内ネットワーキング能力

組織の構造・機能を理解し、他部門、他職種との連携ができる。

⑦組織外ネットワーキング能力

地域文化性や特徴を理解し資源を活用できる。さらに関係機関や大学などの組織外のネットワーキングができる。

⑧コンフリクトマネジメント能力

問題解決のためのアセスメントを行い、トラブル解決のための処理を迅速に行える。葛藤が生じる機関、部門などで生じる葛藤を予測でき、プロトコルを作成できる。

⑨業務運営能力

組織目標への貢献を含め、業務に対する計画、企画力、業務のタイムマネジメント、業務効率の促進、リスクマネジメント、スタッフ管理・人員配置を含む

⑩スーパービジョン能力

新人ソーシャルワーカー、実習生、研修生などの指導を行うことができる。

⑪研究能力

研究課題を設定し、それに基づく計画を立案する。そのための予算獲得やプロトコルを書くことができる。

諸注意

- 当協会の研修は原則、オンライン申込・決済システムPeatix (<https://peatix.com/?lang=ja>) を利用しています。
- 内容・講師等はすべて予定です。変更が発生しましたら、随時、会報・ホームページ (<http://www.aichi-msw.or.jp/>) にてご案内しますので、ご確認ください。
- 申し込み方法等の詳細は、開催直近の会報・ホームページでご案内します。定員を超えた際は受け付けできないことがありますので、お早めにお申し込みください。
- グローバル以外のカテゴリーの現任者研修については、原則対象とする経験年数の方の受講を必須とします。但し、それ以外の経験年数の方も当該研修が想定する経験年数をご理解頂いていれば受講できます。
例：ベーシック研修 MSWとして入職 1～3 年目(必須)、それ以外の経験年数(推奨)
- 複数回開催でまとめて受講費を支払う必要がある研修の場合、受講費支払い後、一部の回で欠席があってもその分の返金はできません。
- Peatixのアカウント登録時・申込時のアンケートに記載頂くメールアドレスは、土日祝でも確認ができるものを登録ください。また、メールアドレスの誤りが散見されますので、記入時ご注意ください。
- 認定医療ソーシャルワーカーに関する詳細は、日本医療ソーシャルワーカー協会のホームページ (<https://www.jaswhs.or.jp/>) をご確認ください。
- 認定社会福祉士に関する詳細は、認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ (<https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/>) をご確認ください。
- 台風・大雨・大雪・感染症拡大などにより研修を中止する場合は、ホームページにてご案内しますので、ご確認ください。

研修受講証書の交付要件

- 遅刻、早退いずれかまたは合わせて30分以上の場合は研修受講書を交付できません。ただし、研修自体には参加できます。
- 参集での研修時の研修受講証書は、後日、運営スタッフより、PDFにてPeatixでの申し込み時にお知らせ頂いたメールアドレスへ送付します。
- オンライン研修での交付要件は、研修終了後に実施する記名式のオンラインアンケート(通常の質問項目+簡易のレポート)を後述する回答期限内に提出することとします。なお、簡易レポートの内容を評価することはありません。交付要件を満たし方にも、運営スタッフより PDFにてPeatixでの申込時にお知らせ頂いたメールアドレスへ送付します。なお、領収書は交付要件を満たしているか否かに関わらずPeatix上で発行可能です。
- Zoomによるオンライン研修の場合に限り、相互交流という趣旨の特性から遅刻・早退のいずれか、または合わせて30分以上の場合は、オンラインアンケートを回答期限内に提出頂いても、研修受講証書を交付できません。但し、研修自体には参加できます。

■ オンラインアンケート回答期限

単独研修・・・動画視聴期間内

継続研修・・・各研修の動画視聴期間開始日から 2 週間以内

2023年度研修開催一覧

オンライン研修に関する諸注意

● 視聴方法

・オンライン研修は、YouTubeによるオンデマンド配信と、Zoomによるライブ配信のいずれかで実施します。各研修の視聴方法は、研修詳細にてご確認ください。

・Peatixで当該研修の事前入金完了しましたら、Peatix 内に受講者専用の「イベント視聴ページ」が開設されます。原則研修3日前 9:00 までに配布資料とオンラインアンケートのURL、加えてZoomによるライブ配信の場合はミーティングURL・ID・パスコードを掲載します。

・YouTubeによるオンデマンド配信の場合は、研修当日9:00に「イベント視聴ページ」へURLを掲載します。配布資料は事前にオンライン上でご覧頂くか、ダウンロードして印刷してご使用ください。

● 動画配信期間

YouTubeによるオンデマンド配信

・原則2週間として単独研修と継続研修で、以下の様にします。

単独研修: 研修日9:00 (Zoomライブの場合は研修日翌々日9:00) から15日後の23:59までとする。(研修日を含める)

継続研修: 最終研修日9:00から15日後の23:59までとする。(研修日を含める)

・配信期間内は、何度でも視聴することができます。

・配信期間が終了したら、配布資料も閲覧・ダウンロードできなくなりますのでご注意ください。

Zoomによるライブ配信

・動画配信を行うために録画しますので、予めご了承ください。

・ただし、Zoomによるライブ配信後の動画配信について、研修内容の性質や講師の意向により動画配信しない場合があります。その際は募集の段階で明示します。なお、受講者側の理由で受講できなかった場合、返金には応じかねますので予めご了承ください。

・研修当日以外にも、受講者の視聴保障の観点から、後日14日間研修動画を視聴することができます。原則、研修日翌々日9:00までにPeatixの「イベント視聴ページ」に研修動画 URL を追記しますので、そちらからご確認ください。Zoomによるライブ配信が受講者側の理由で受講できなかった場合も、こちらの研修動画を視聴ください。

動画・配布資料を第三者へ提供することは、固くお断りします。

● その他

・オンライン研修セキュリティポリシーは愛知県医療ソーシャルワーカー協会ホームページ (<http://www.aichi-msw.or.jp/study/pdf/policy.pdf>) をご確認ください。

・研修受講マニュアルは、愛知県医療ソーシャルワーカー協会ホームページ (<http://www.aichi-msw.or.jp/study/pdf/manual.pdf>) をご確認ください。

2023年度研修開催一覧

No.	研修名称	開催日
学生研修		
1	学生研修 ～MSWフェア～	2024年 3月9日
ベーシック研修		
2	支援相談員基礎研修① ～支援相談員のポジショニングとアセスメントの実際～講義1・2	2023年 11月18日
3	支援相談員基礎研修② ～支援相談員のポジショニングとアセスメントの実際～ 事例検討	2024年 1月～2月 ※感染症蔓延時は下記 日程でライブ配信 2024年 1月20日
4	新任者オリエンテーション 接遇研修&新任者養成プレ研修	2023年 6月17日
5	新任者養成研修① ～医療制度改革によるMSWの業務、医療保険制度～	2023年 10月14日
6	新任者養成研修② ～障害者・自立支援・医療証・特定・小慢・障害年金～	2023年 10月28日
7	新任者養成研修③ ～医学知識、退院援助ー在宅～	2023年 11月4日
8	新任者養成研修④ ～介護保険制度、生活保護～	2023年 11月18日
9	新任者養成研修⑤ ～退院相談のポイントとシステム化、転院施設の相談～	2023年 12月2日
10	新任者養成研修⑥ ～面接技術1・2～	2023年 12月16日
11	新任者養成研修⑦ ～医療機関機能別専門知識1～4～	2024年 1月13日
12	新任者養成研修⑧ ～身寄りのない人への援助、自己覚知～	2024年 1月27日
グローバル研修		
13	専門研修 ～MSWがもたらす病院経営への効果～	2023年 10月14日
14	機能分野別研修 ～性の多様性 (LGBTQ) について～	2023年 7月1日
15	保証人問題委員会企画研修 ～身寄りのない方の死後対応について (仮) ～	2023年 7月頃
16	退院・療養継続支援研修① ～今、改めて考える 療養継続の観点からみた老人保健施設の魅力～	2023年 5月27日
17	退院・療養継続支援研修② ～看護小規模多機能型居宅介護について～ (仮)	2023年 9月30日
18	実践研究支援研修 ～日常業務を見える化するための研究的手法を学ぼう！～ (仮)	2023年 10月7日
19	意思決定支援委員会企画研修 事例から学ぶ意思決定支援の実際 ～ガイドラインを実践に活かそう！～	2024年 1月頃
20	研修部企画研修 2024年度診療報酬改定説明会	2024年 3月下旬

研修予定

学生研修①

テーマ	MSWフェア
目的	MSWの魅力の紹介、およびMSWとしての就職相談
対象	学生（高校生・大学生・大学院生・専門学校生）、教職員、保護者等
研修内容	現役のMSWが情報提供および就職相談等に応じる
日時	2024年3月9日（土）
開催方法	対面またはZoomによるライブ配信
受講費	無料

○ベーシック研修 支援相談員基礎研修①

テーマ	支援相談員のポジショニングとアセスメントの実際
目的	利用者や家族との援助関係において、どのようなポジショニングで仕事をしているのか自己覚知する。また、利用者や家族を理解するための面接技術・アセスメントについて学ぶ。 後日開催の事例検討を通して、対人援助職としての基本的な視点を学ぶと共に、支援相談員の現状と実践課題へのアプローチについて理解を深める。
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
対象	1 支援相談員としての従事期間が概ね3年以下の方（必須） 2 希望するすべてのソーシャルワーカー（推奨）
講師	藤田医科大学 片山徹 氏 日本福祉大学 加藤良子 氏
研修内容	講義1 「レジデンシャルソーシャルワークにおける支援相談員の実践力」 講義2 「利用者や家族を理解するためのアセスメントと聴く力」
日時	2023年11月18日（土）9:00～2023年12月2日（土）23:55
開催方法	オンデマンド配信
定員	50名
受講費	会員 1,000円 非会員 2,000円
認定ポイント	2ポイント（予定）
担保したい力量該当番号	①、②、③、④、⑥、⑨

○ベーシック研修 支援相談員基礎研修②

テーマ	支援相談員のポジショニングとアセスメントの実際
目的	利用者や家族との援助関係において、どのようなポジショニングで仕事をしているのか自己覚知する。また、利用者や家族を理解するための面接技術・アセスメントについて学ぶ。事例検討を通して、対人援助職としての基本的な視点を学ぶと共に、支援相談員の現状と実践課題へのアプローチについて理解を深める。
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
対象	1 支援相談員としての従事期間が概ね3年以下の方（必須） 2 希望するすべてのソーシャルワーカー（推奨）
講師	日本福祉大学 加藤良子 氏 事例発表者（未定）+ファシリテーター
研修内容	事例検討「支援相談員のアセスメント 面接の実際」
日時	2024年1月～2月
開催方法	参集：会場は今後調整 感染症蔓延時は開催方法を以下に変更 ライブ配信 2024年1月20日（土）13時～15時15分 後日オンデマンド配信 2024年1月20日（土）18:00～ 2月3日（土）23:55
定員	50人
受講費	会員 1,000円 非会員 2,000円
認定ポイント	3ポイント（予定）
担保したい力量該当番号	①、②、③、④、⑥、⑨

○ベーシック研修 新任者オリエンテーション 接遇研修&新任者養成プレ研修

テーマ	先輩MSWからのメッセージ 社会人としての基本的な接遇	はじめての医療費相談 社会人としての基本的な電話対応	はじめての介護保険相談 グループディスカッション
講師	未定		
目的	社会人としての接遇を学び、新任者として所属する機関で院内の他職種や関係機関との接点をもつことがスムーズにできることを目指す。新任MSWが日常の業務を実践するために最低限必要なMSWの価値・倫理・知識・技術などを習得する。そして、自ら学ぶことができない分野や実践的なポイントなどの理解を深めていただく。		
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）		
対象者	MSWとして入職1～3年目（必須） それ以外の経験年数の方（推奨）		
研修内容	講義		
日時	2023年6月17日（土）		
開催方法	Zoomによるライブ配信		
定員	50人		
受講費	会員1,300円 非会員1,300円		
認定ポイント	3ポイント（予定）		
担保したい力量該当番号	①		

研修予定

ベーシック研修 新任者養成研修①～⑧

※全て受講を前提

対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
目的	新任MSWが日常の業務を実践するために最低限必要なMSWの価値・倫理・技術などを習得する。そして自ら学ぶことができない分野や実践的なポイントなどの理解を深める。
対象者	MSWとして入職1～3年目（必須） それ以外の経験年数の方（推奨）
定員	70人
受講費	会員6,500円 非会員14,000円（新任者養成研修①～⑧全受講で）
担保したい力量該当番号	①

ベーシック研修 新任者養成研修①

テーマ	医療制度改革によるMSWの業務
研修内容	医療制度改革から退院援助に必要な社会的背景を学び、より広い視野で業務を理解し実践につなげる。
テーマ	医療費・生活相談－医療保険制度
研修内容	保険とは何か、社会保険とは何か、医療保険とは何か？高額療養費制度を中心に医療保険制度の給付について学ぶ。
日時	2023年10月14日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修②

テーマ	医療費・生活相談－障害者・自立支援・医療証・特定・小慢
研修内容	障害者福祉に関する諸制度および各種医療費助成について学ぶ。
テーマ	医療費・生活相談－障害年金
研修内容	基礎的な知識の習得を目的に事例を紹介しながら学ぶ。
日時	2023年10月28日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修③

テーマ	医学知識
研修内容	医師が講師となり、脳卒中、脳機能（高次脳）、脳関連の疾患、認知症リハビリに関する内容を学び実践で役立てる。
テーマ	退院援助－在宅
研修内容	入院中の患者が在宅療養へ移行する際の基本的な流れや各段階での注意点について確認する。
日時	2023年11月4日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修④

テーマ	介護保険制度
研修内容	介護保険制度について、現場で役立つ基本的な知識を学ぶ。
テーマ	医療費・生活相談－生活保護
研修内容	生活保護制度について、最低生活費の計算等を交えて制度を学ぶ。
日時	2023年11月18日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修⑤

テーマ	退院支援 - 相談のポイントとシステム化 退院支援 - 転院施設の相談
研修内容	必要な視点・知識・方法等とシステム化について学ぶ。患者の状態を的確にとらえ、患者・家族の思いを大切にしながら、病院や施設の機能を理解して、療養先を見極めるための知識を深める。
日時	2023年12月2日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修⑥

テーマ	面接技術 1・2
研修内容	面接は、クライアントへの意図的な関わりから支援を遂行するために重要な技術・方法であり、支援過程ともなる対人援助職としての基礎になる。ロールプレイ等映像から考える。
日時	2023年12月16日（土）
開催方法	Zoomによるライブ配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

研修予定

ベーシック研修 新任者養成研修⑦

テーマ	医療機関機能別専門知識 1～4
研修内容	様々な機関（回復期/地域包括/療養/緩和/老健）の機能を理解し、各領域のMSWとして実践するための特性について学ぶ。各機関のMSWによるリレー講義を行う。
日時	2024年1月13日（土）
開催方法	YouTubeによるオンデマンド配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

ベーシック研修 新任者養成研修⑧

テーマ	身寄りのない人への援助
研修内容	医療・福祉の現場では、従来の貧困・疾病に加え、人間関係の希薄化である無縁社会が新たなキーワードとなりつつある。具体的アプローチを紹介し、現場で求められる対応の実際を学ぶ。
テーマ	自己覚知
研修内容	自己覚知、社会福祉労働の二面性やジレンマ等について学ぶ。
日時	2024年1月27日（土）
開催方法	Zoomによるライブ配信
認定ポイント	4ポイント（予定）

グローバル研修 「専門研修」

テーマ	MSWがもたらす病院経営の効果～愛知県厚生連本部経営企画から見えるMSWの配置効果と経営貢献、そしてMSWの採用まで～
目的	MSWの実践が病院運営・経営にどう結びついているのかを他部門の視点から学び、何を期待され求められているのかを捉える
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
対象者	すべての会員・非会員
講師	JA愛知厚生連 企画管理部 経営企画課長 秀野功典氏
研修内容	他職種の病院運営・管理部門の講師による講義・質疑応答
日時	2023年10月14日（土）
開催方法	参集+ YouTubeによるオンデマンド配信
定員	80人
受講費	会員2,000円 非会員4,000円
認定ポイント	3ポイント（予定）
担保したい力量該当番号	①、⑤、⑥、⑧、⑨

グローバル研修 機能分野別研修

テ	マ	性の多様性 (LGBTQ) について～当事者の視点から医療・介護職の方に知ってほしいこと
目	的	国連が定める17の持続可能な開発目標 (SDGs) を基に、各領域の専門家や地域資源、コミュニティ等と共に社会的課題、ソーシャルワークとの関係性を探りながら、持続可能な解決策にむけた新しい知を得ながら、協働関係を作り上げていくことを目指す。第1弾は「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマとした講演とグループワークを予定。
対	象	全て (病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など)
対	象	者 1 全ての愛知県MSW協会会員 (必須) 2 研修テーマに関心がある非会員の方 (推奨)
講	師	LGBT講演家・パーソナルトレーナー 船越 美紀氏
研	修	内 容 ・性の多様性 (LGBTQ) の基礎知識 ・カミングアウトについて ・社会の中 (学校の中、会社の中、生活の中) のLGBTQについて ・当事者の視点から医療・介護の場面で困ること、あるいは配慮が必要なこと等
日	時	2023年7月1日 (土) 13時30分～16時00分
開	催	方 法 Zoomによるライブ配信
定	員	30人
受	講	費 会員1,000円 非会員2,000円
認	定	ポ イ ン ト 2ポイント (予定)
担	保	し たい 力 量 該 当 番 号 ①、④、⑧

グローバル研修 保証人問題委員会企画研修

テ	マ	身寄りのない方の死後対応について (仮)
目	的	身寄りのない方の中には、支援者はいるものの死後対応に向けた準備ができず、死亡してしまう事例や、本人のお金が本人のために使えずに亡くなってしまう事例などが散見される。これらの事例は本人のACPと繋がる部分もあると考えられ、本研修を通じて死後対応に関する基本的な知識や支援の在り方について学ぶ。
対	象	機 関 全て (病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など)
対	象	者 MSWとしての入職年数を問わず
講	師	未定
研	修	内 容 死後対応に関する身寄りのない方の事例を通じて死後対応に関する基礎的な知識 (死後事務委任契約や遺言、墓地理葬法等) や支援の視点について学ぶ
日	時	2023年7月頃
開	催	方 法 Zoomによるライブ配信
定	員	150人
受	講	費 未定
認	定	ポ イ ン ト 2ポイント (予定)
担	保	し たい 力 量 該 当 番 号 ①、②、③、④、⑥、⑦

研修予定

グローバル研修 退院・療養継続支援研修①

テーマ	今、改めて考える 療養継続の観点からみた老人保健施設の魅力
目的	老健の実際の強みについて理解を深め、療養継続支援にあたり老健を有効に活用できるようにする。
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
対象者	MSWとしての入職年数を問わず
講師	一般社団法人 愛知県老人保健施設協会 研修委員会委員 支援相談員部会 部会代表者 社会医療法人大雄会 老人保健施設アウン 事務長代理 松本泰 氏
研修内容	老人保健施設の制度開始からの位置づけや役割の変遷を学び、デイケア、ショートステイなど在宅生活を支える多岐なサービス、ソーシャルワーカーの在籍、専門職が揃っていることなど老健の強みについて理解を深め、療養継続支援にあたり老健を活用できるよう講義とグループワークを行う。
日時	2023年5月27日（土）14時～16時
開催方法	Zoomによるライブ配信
定員	30人
受講費	会員1,000円 非会員2,000円
認定ポイント	2ポイント（予定）
担保したい力量該当番号	①、②、④、⑦、⑨

グローバル研修 退院・療養継続支援研修②

テーマ	看護小規模多機能型居宅介護について（仮）
目的	看多機の概要、利用例について知識を得て、退院・療養継続先としての活用について検討し、理解を深める。
対象機関	全て（病院、診療所、老健、居宅介護支援、地域包括など）
対象者	MSWとしての入職年数を問わず
講師	株式会社ウチエト 代表取締役 小森恵太 氏 セントケア看護小規模中川 所長 天木怜香 氏
研修内容	看多機の概要、退院支援や療養継続支援での利用例、看多機からMSWに寄せる期待などについて、複数の事業所から講義をしていただく。その後講義内容を踏まえたグループワークを実施。
日時	2023年9月30日（土）14時～16時
開催方法	Zoomによるライブ配信
定員	30人
受講費	会員1,000円 非会員2,000円
認定ポイント	2ポイント（予定）
担保したい力量該当番号	①、②、④、⑦、⑨

グローバル研修 実践研究支援研修

テ	マ	日常業務を見える化するための研究的手法を学ぼう！（仮）
目	的	日常業務を所属機関の管理者や地域の関係機関に説明することができることは、業務の発展のために重要な意味を持つ。どのようなことをだれに対してどう見せていくかを考え、効果的な方法を学び、実践に活かせることを目的とする。
対	象	機関
対	象	者
講	師	日本福祉大学 保正友子 氏
研	修	内
日	時	2023年10月7日（土） 13時30分～16時30分
開	催	方
定	員	30人
受	講	費
認	定	ポ
担	保	し
たい	力	量
該	当	番
号		②、⑥、⑨、⑪

グローバル研修 意思決定支援委員会企画研修

テ	マ	事例から学ぶ意思決定支援の実際～ガイドラインを実践に活かそう！～（仮）
目	的	愛知県医療ソーシャルワーカー協会発行「医療ソーシャルワーカーのための意思決定支援ガイドライン」掲載事例を題材に、実践へと応用するための知識と技術の習得を目的として、医療機関における個別支援事例及び所属組織において多職種で当事者の意思決定支援を実現するために、医療ソーシャルワーカーに求められる役割、組織形成やチームワークの技術について学習する。
対	象	機関
対	象	者
研	修	内
日	時	2024年1月頃
開	催	方
定	員	30人
受	講	費
認	定	ポ
担	保	し
たい	力	量
該	当	番
号		①、⑥

グローバル研修 研修部企画研修

テ ー マ	2024年度診療報酬改定説明会
目 的	2024年度の診療報酬の改訂による各医療機関・医療ソーシャルワーカー等の業務に与える影響並びに改定内容を踏まえた戦略的対応、実践を学ぶ。
対 象 機 関	全て（病院、診療所、老健、居宅支援、地域包括など）
対 象 者	入職年数を問わず
講 師	株式会社スズケン 岡山幸司 氏（予定）
研 修 内 容	2024年度診療報酬改定について
日 時	2024年3月下旬
開 催 方 法	参集：会場は今後調整
定 員	200人
受 講 費	会員3,000円 非会員6,000円
認 定 ポ イ ン ト	2ポイント（予定）
担 保 し た い 力 量 該 当 番 号	②、⑨

発行 一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会

〒456-0002 名古屋市熱田区金山町一丁目3番2号
イートピア紅葉舎金山マンション204号

E-mail soumu@aichi-msw.or.jp

URL <http://www.aichi-msw.or.jp>
